

日本語中級 1 (能力試験対策)

選択(2単位) 火2時限 教員氏名: 伊藤 みちる

開講年度 2018 年度

開講学期 2018 年度 (前期)

【授業種別】 授業は、週1回(90分)で15週。欠席が3分の1以上の場合は不合格となる。遅刻と早退を計3回すると、1回の欠席となる。また30分以上の遅刻と早退は欠席とする。

【授業概要】 日本語中級前期レベルの学生若しくは同レベルの日本語力の確実な定着を図り、日本語能力試験1級合格を目指す。日本語能力試験1級合格に必要な『文法』『文字・語彙』『読解』『聴解』の実力を身につけ、頻出内容と出題スタイルに慣れる。解答のスピードを上げるための訓練をする。

【授業計画】 日本語能力試験2級レベルの文法事項・語彙の復習の後、日本語能力試験1級レベルの重要文型の理解と運用力を養成する。さらに問題の解き方、解答の仕方など日本語能力試験1級に合格するための戦略的技術を学ぶ。

【授業目標・内容】 日本語能力試験対策教材のみだけでなく、日本語能力試験1級レベルの表現が使われている難易度の高い雑誌や新聞等や音声を教材として用いる。日本語能力試験1級に合格するように焦点を絞り、文型や語彙を定着させ、出題されやすい内容について聴解・読解の訓練を行う。慣用的表現や、四字熟語や同音異字、同訓異字、似形異字など、同時に、仮名で適切な表記ができるよう練習する。

【授業時間外の学習】 宿題や毎回の小テスト対策としての復習が必要。積極的に日常生活の中で日本語を聞く・話すことを心がける。学内の一般学生との交流を通じ、生きた日本語に触れるよう努める。

【評価基準】 授業出席3分の2以上を評価対象とする。宿題50%、試験50%〔小テスト(14回)・テスト(2回)〕。

S (100~90点) A (89~80点) B (79~70点) C (69~60点) D (59点以下)

【教材】 『日本語総まとめ N1 語彙』アスク出版
『パターン別徹底ドリル 日本語能力試験N1』アルク
参考文献・資料などは適宜紹介する。

【その他】 質問等は授業後若しくはメールにて受け付ける。オフィスアワーやメールアドレス等の連絡先は初回授業時に伝える。